

●募集要項●

募集人員： 10名

選考試験：

- (1)方法：面接、小論文（20分程度、抱負等のテーマ）
- (2)日時：下記の日程から選択できます
 - ① 7月24（土） ②8月28日（土）
 （出願締切日は両日程とも7月16日（必着））
- (3)場所：滋賀県立総合病院

身分： ジュニアレジデント（滋賀県会計年度任用職員）

給与： 研修医の身分による報酬

- 1年目月額 おおよそ303,000円＋諸手当
（年額おおよそ4,129,000円＋時間外、宿日直、通勤手当）
- 2年目月額 おおよそ312,000円＋諸手当
（年額おおよそ4,248,000円＋時間外、宿日直、通勤手当）

健康保険： 有り（社会保険加入）

当直： 約2～4回/月（翌日勤務は11時で終了）

休暇： 週休2日、夏季休暇6日、年末年始各3日、
年休1年目10日、2年目11日

住居： 職員宿舎あり（病院まで徒歩3分）

※希望者多数の場合は入居いただけない場合もあります。

1K、（面積：26.40平方メートル）、

使用料月額：約7,200円（共益費別途）

●病院見学●

実施時期：随時

受付方法：メールにて以下の事項をお知らせください。

見学日および見学日程等を調整します。

- ①氏名 ②性別 ③年齢
- ④見学希望の診療科 ⑤メールアドレス

問合せ・申込み：総合病院レジデントセンター

Mail resi-center@mdc.med.shiga-pref.jp

TEL 077-582-8034（総務課直通）

※ 1日で1つ～2つの診療科の見学ができます。初期研修医がローテーションで在籍している診療科の見学がしたいといった希望も調整しますのでございましたらお知らせください。職員宿舎の見学もできます。

●アクセス●



滋賀県立総合病院は

日本医療機能評価機構の認定病院です

当院は、財団法人日本医療機能評価機構による病院機能評価（3rdG:Ver.1.1）の審査を受け、その認定基準を達成しているものと評価をいただき、認定書の交付を受けております。

今後も、安心と安全と信頼を得られる、より質の高い医療サービスの提供を目指して、病院機能の改善・向上に努めてまいります。



●初期研修医の出身大学一覧●

	R3	R2	H31	H30	H29
京都大学	3				
滋賀医科大	2	3	1	2	
金沢大学	2	1			
北海道大学	1				
三重大学		1	1	1	
近畿大学		1		1	
新潟大学		1			
東京大学		1			
福井大学			1		
関西医科大学			1		
鳥取大学			1		
旭川医科大学			1		
獨協医科大学			1		
東海大学			1		
信州大学				1	
熊本大学				1	
奈良医科大				1	
岩手医科大				1	
京都大学					3
京都府立医大					1
富山大					1
和歌山県立医科大					1
合計	8	8	8	8	6

滋賀県立総合病院

Shiga General Hospital

〒524-8524

滋賀県守山市守山5丁目4番30号

電話 077-582-5031

ホームページアドレス

<https://www.pref.shiga.lg.jp/kensou/>



2022年度



滋賀県立総合病院

(旧：滋賀県立成人病センター)

初期臨床研修医募集要項

プログラム
スケジュール
(予定)

	1～4週	5～8週	9～12週	11～16週	17～20週	21～24週	25～28週	29～32週	33～36週	37～40週	41～44週	45～48週	49～52週
一年次	内科 30 週間								救急 8 週間	麻酔科 4 週間	自由選択 6 週間	外科系 4 週間	
	時間外救急外来対応												
二年次	1～4週	5～8週	9～12週	11～16週	17～20週	21～24週	25～28週	29～32週	33～36週	37～40週	41～44週	45～48週	49～52週
	地域 4週間以上	小児科 4週間以上	精神科 4週間以上	産婦人科 4週間以上	自由選択								
	時間外救急外来対応												

※一般外来研修は内科系・外科系・地域医療・小児科研修中に通算で4週間以上となるように行います
※令和2年12月時点での予定です 最新情報は当院HPにてご確認ください

総合病院での 選択科目

血液・腫瘍内科、糖尿病・内分泌内科、脳神経内科、循環器内科、消化器内科、呼吸器内科、外科、乳腺外科、整形外科、形成外科、脳神経外科、呼吸器外科、心臓血管外科、泌尿器科、婦人科、眼科、耳鼻いんこう科、皮膚科、麻酔科、放射線診断科、放射線治療科、緩和ケア科、リハビリテーション科、病理診断科、免疫内科、腎臓内科、老年内科：専門外来あり。(免疫内科の入院は血液腫瘍内科で対応)

協力施設での 選択科目

●産科(大津赤十字病院、近江八幡市総合医療センター、滋賀医科大学付属病院、彦根市立病院) ●小児科(滋賀県立小児保健医療センター、滋賀医科大学付属病院、京都大学医学部付属病院、近江八幡市立総合医療センター、守山市民病院) ●精神科(滋賀県立精神医療センター、医療法人周行会湖南病院、公益財団法人豊郷病院) ●救急(恩賜財団済生会滋賀県病院) ●地域医療(ヴォーリス記念病院、東近江市永源寺診療所、湖南市立石部診療所、地域包括ケアセンターいぶき、守山・野洲医師会の診療所等)

- 病床数…535床
- 常勤医師数…148名
- 1日平均外来患者数…756.4名
- 1日平均入院患者数…395.4名
- 年間総手術数…7,623件
- 平均在院日数…14.8日(緩和ケアを除く)
- 年間救急外来患者数…4,109名
- 年間救急車搬入台数…1,557件

※令和2年度実績

病院長より医学生の皆様へ

滋賀県立総合病院総長・病院長 一山 智



来年度、初期研修を開始される医学生の皆様、これからの医師人生のスタートの舞台として滋賀県立総合病院で第一歩を踏み出してみませんか。

初期研修において皆さまはどのような希望あるいは目標設定をもっていらっしゃるでしょうか。医療技術の習得、患者さん対応のスキルの向上、実地の医療知識の習得など、様々な思いを抱いておられることと思います。

私たちは平成30年1月より滋賀成人病センターという名称を改め、滋賀県唯一の県立総合病院として生まれ変わりました。当院ではすべての領域の疾患を扱っており、それぞれの専門性を有した一流の医療スタッフを揃えています。高度に専門性を有した8つの高度医療センター（乳腺・肺がん・人工関節・放射線治療・心臓血管・消化器・脳卒中・頭頸部）を整備し、県がん診療連携拠点病院として県内の多くの病院と連携してがん診療のレベルの向上に取り組んでいます。

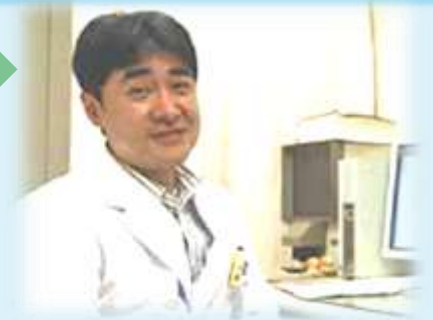
当院での研修においては日々の業務に忙殺されることなく、じっくりと症例を深く掘り下げて探究心を養い、その積み重ねが将来の医師としての姿勢形成に大きな影響をもたらすことになるでしょう。また、職場においては先輩あるいは同僚の医師、看護師やその他の医療スタッフ、さらに事務系の職員の方々など、多職種の方々と関わっていくことになります。周囲の人々とのコミュニケーションを円滑にとることも学んでいただけたらと思います。

皆さまの若いエネルギーと希望を私たちとともに育てていって、将来の医師として大きく羽ばたいていかれることを希望しています。

プライマリ・ケアから高度専門治療まで

幅広い研修を！

プログラム責任者 松村 和宜



①初期研修医が増えています！！

2学年で17名と充実しています。

また、京都大学医学部附属病院と滋賀医科大学附属病院からのたすき掛け研修医も受け入れています。

②救急診療に力を入れています！

時間内・時間外問わず救急患者の初期診療を行い、検査計画、治療計画立案を行っていただきます。もちろん最終的には上級医のバックアップつきです。このシステムにより早期に患者さんの診察、診断および治療能力が格段に向上します。

③カンファランスを充実しました

研修医カンファランスの定期開催を週1回に増やし、2年目研修医主導の救急ケースカンファランスを行います。加えてNEJMの抄読会、研修医手帳の確認を盛り込み、充実させました。

今日の臨床サポート、procedures consult(Elsevier社)、Clinikal Keyによる教育サポートも充実。

以上の新しい取り組みに加え、従来通りの都道府県がん診療連携拠点病院として各専門領域の高度医療、院内開催の各種セミナー（がんセミナー、医療安全セミナー、基礎研究セミナー）など最新の技術、知識に接することが可能です。研修終了後に次のステップで高度な専門医療を習得するための基礎を固めるために、救急、プライマリ・ケアから専門医療まで幅広く研修することを目標にしています。

内科系においては初期研修から新内科専門医制度、サブスペシャリティ研修にも対応。ぜひ一度見学にお越しください。

滋賀県立総合病院の初期研修医



2年目 菅原 悠 医師

当院の最大の長所は、上級医から出し惜しみのない丁寧な指導を受けられる点です。これは一見するとPRポイントとして弱いように思われるかもしれませんが、いつでも・何度でも・どんな些細なことでも質問できるというのは、病棟業務や救急対応を安心して行うために最も大切なことです。本でどんなに勉強していても実際にオーダーする段になると、補液の処方ひとつとっても、分からないことや不安なことが次々出てきます。気兼ねなく相談できることの有り難さや心強さを、日々実感しています。

医師として長いキャリアを重ねていく上で、最初の2年間の学びは、良くも悪くも今後の診療の基本となります。充実した初期研修となるよう、研修病院は、じっくりと選ぶことをおすすめします。ぜひ、当院の見学にもお気軽にお越しください。

1年目 町田 航真 医師

まだ研修が始まったばかりですが、スタッフの方々がとても優しく、施設も綺麗なため、改めてこの病院を研修先を選んで良かったと感じながら過ごしています。また、守山の町並みも個人的に気に入っており、レストランからの見晴らしは素晴らしいです。当院では1つ1つの症例を丁寧に学ぶことができ、仕事のオンオフがはっきりしているところが特徴的です。分からないことなどは2年目の先生や上級医の先生に何でも聞くことができ、広々とした医局には研修医用のデスクなどもあるので、働きやすい環境が整っていると思います。是非研修病院の候補として当院を検討してくださいと嬉しいです。

